

共創会議における取組内容について

関西電力株式会社

2023/6/22

1. 原子力由来水素の取組み
2. ビジネスマッチングの取組み

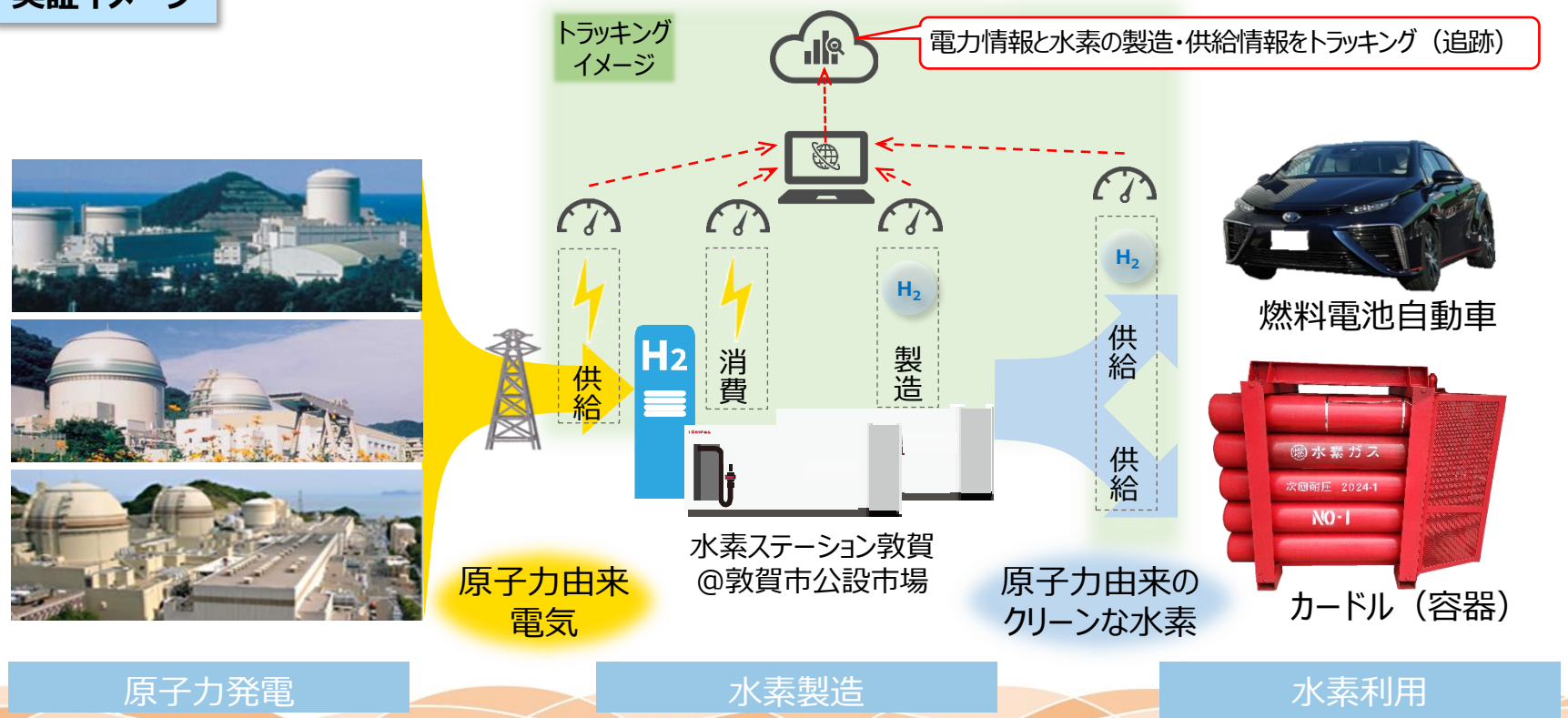
実証内容

- 原子力発電の電気を活用した国内初の原子力由来のクリーンな水素を製造
- 電気の供給から水素利用に至るまでの一連の流れを追跡（トラッキング）し、水素が原子力発電の電気によって製造されたことを特定、および水素製造におけるCO₂削減量を可視化

実証期間

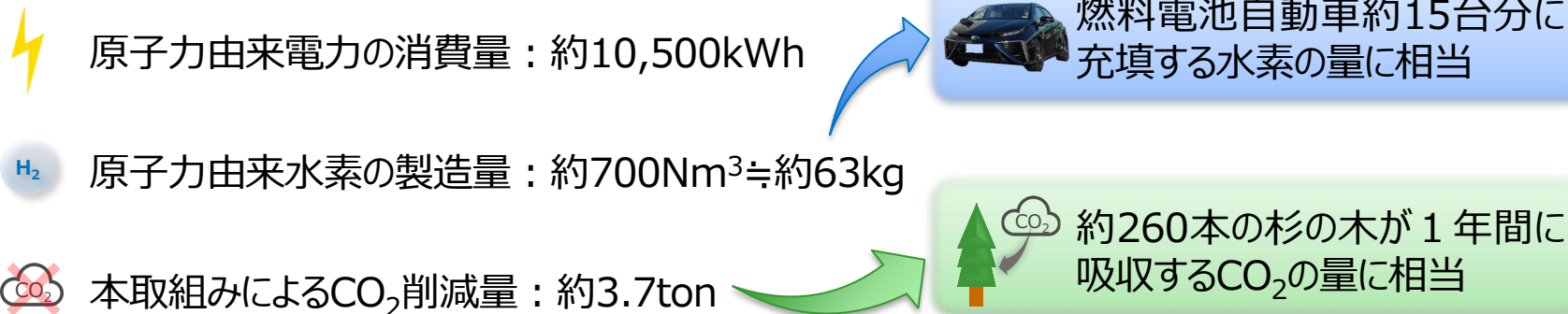
- 2022年12月16日(金)～2023年2月28日(火)

実証イメージ



実証結果

○実証期間（75日間）における実績



全国初の取組みとしてテレビや新聞などメディアに広く取り上げていただきました。

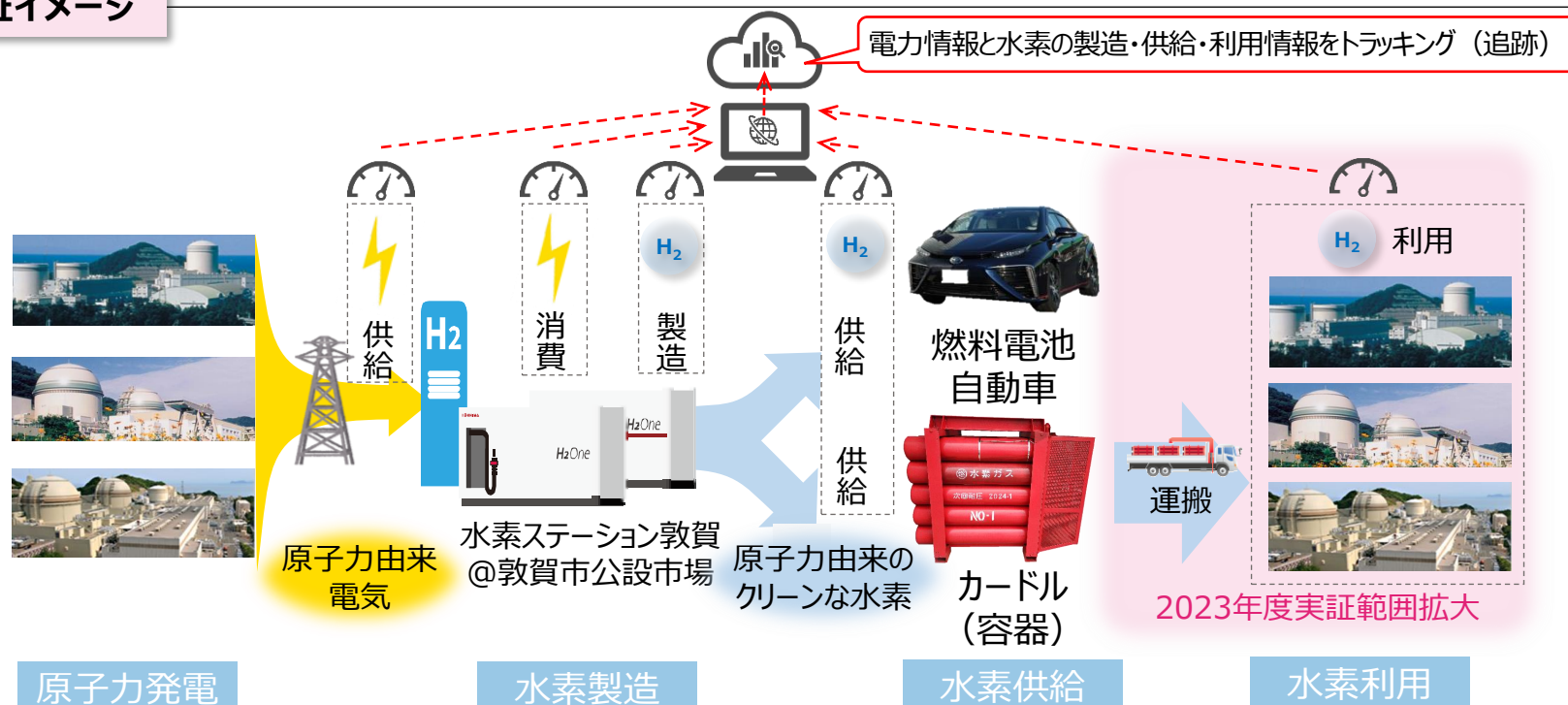
実証計画

- 昨年度実施したFCV・カードルに充填することに加え、原子力発電所での水素利用を行う。
循環型の地産地消エネルギーを見据えた実証を行い、クリーンな原子力エネルギーをアピールする。

実証期間

- 2023年秋頃実証開始（予定）

実証イメージ

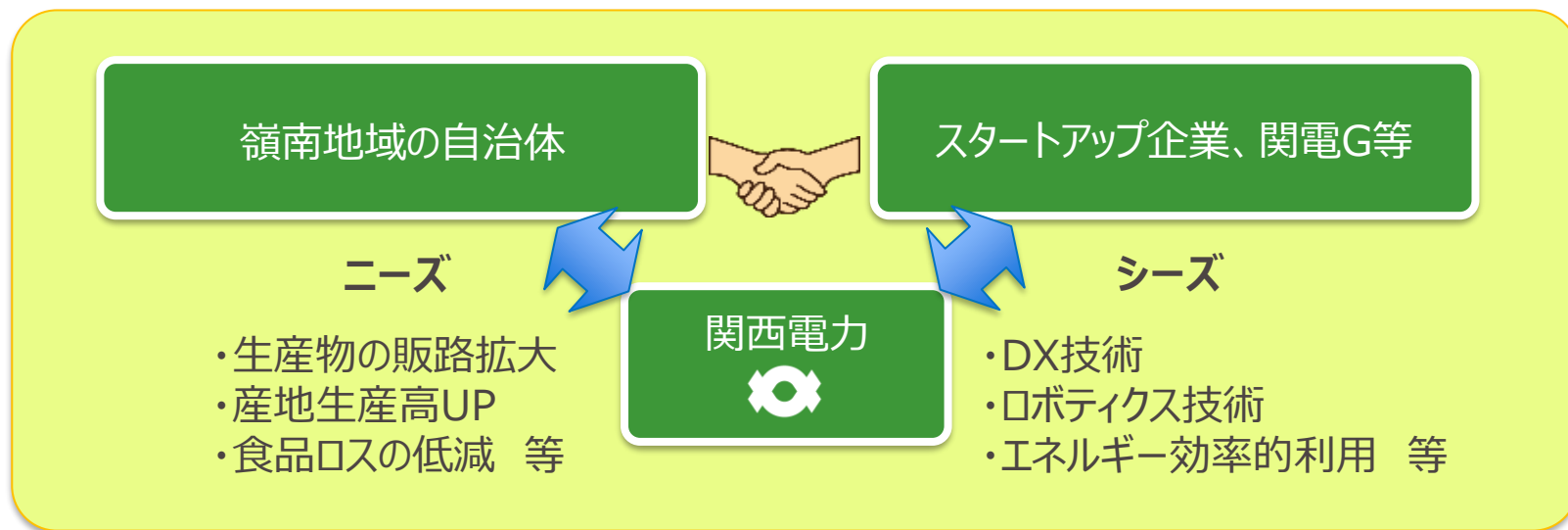


2025年万博に向けて

- 実証で得られた知見を用い、原子力由来の水素を万博会場で活用するなど、嶺南のグリーンなエネルギーを多様なチャネルを使って、訴求できるよう具体的な方法を検討していく。

取組内容のコンセプト*1

農・水・食の分野において、嶺南市町の皆さまのニーズと、こうした分野に長けた先進スタートアップ企業等の持つシーズを、当社が橋渡し役となってマッチングし、地域の新しいビジネスの創出につなげる取組みを進める。



*1：「第3回 福井県・原子力発電所の立地地域の将来像に関する共創会議」関西電力説明資料
(https://www.meti.go.jp/shingikai/energy_environment/fukui_kyosokaigi/003.html)

- コミュニケーションでお伺いした約30のニーズ（課題）に対して、100社弱のシーズ（スタートアップ企業）のマッチングプロセスを進め、それぞれに独自の強みを持つ企業3社を選定。

ヒアリング等を通じて確認した
地域ニーズ（課題テーマ）

課題テーマに知見を有する
スタートアップ企業

具体的な取組み

● 養殖業の強化に向けた ブランド魚の開発



リージョナル
フィッシュ
株式会社 

強み：品種改良技術、スマート養殖技術

- ・ **ゲノム技術**を活用した**品種改良**研究（サバ、アカウニ）
- ・ 県立大と連携した、**陸上養殖システム**の検討

● 農業生産基盤の強化

生産技術・収益性向上



株式会社
TOWING 

強み：超良質土壌環境の生成技術

- ・ **地域バイオマス資源**を活用した**良質人工土壌生成実証**
- ・ 人工土壌を通じた、**地産地消システム**の実装検討

デジタル化・産地形成



テラスマイル
株式会社 

強み：データ一元化による分析、営農指導

- ・ **農業経営クラウドサービス**を活用した栽培・経営**データの可視化**
- ・ **データ活用**による、**生産性向上**や更なる応用の検討

■ 2022年度実績と今後の予定

2022年度

2023年度

2024年度以降

実績
・
現計画

有望なスタートアップ企業を採
択し、事前検証開始に向けた
座組み・準備を完了

実証開始し、より具体的な
現場課題に対応
地域内外事業者の、本格的
な巻き込みにも着手

実証結果を踏まえ、案件毎
に事業化判断を順次実施
地域に根付く、持続可能な
ビジネスの構築、展開

